

第4回 長安ロダム
環境モニタリング委員会

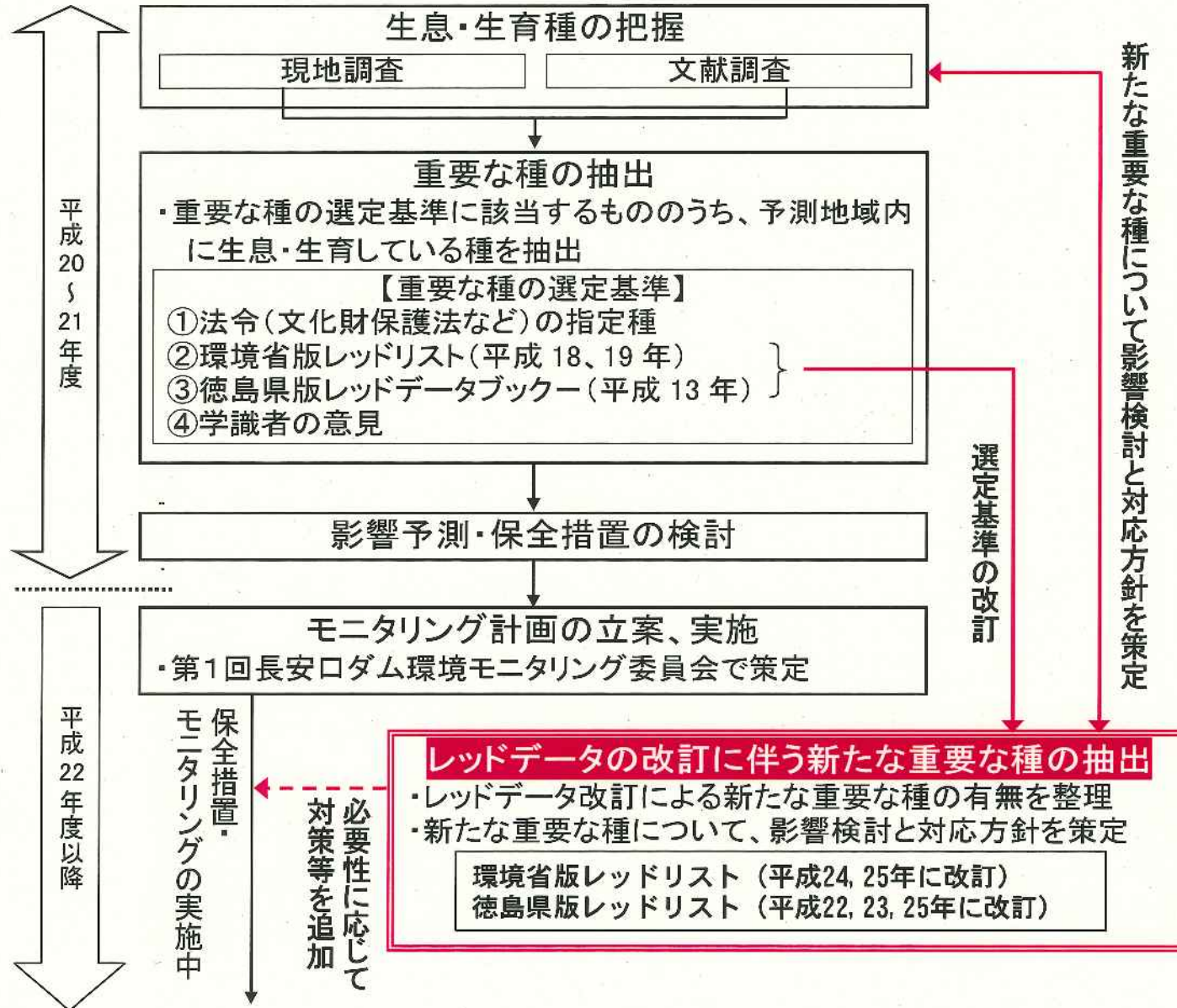
長安ロダム改造事業に係る
平成26年度モニタリング実施計画書(案)
[概要版]

平成26年2月24日

国土交通省四国地方整備局
那賀川河川事務所

1.レッドデータの改訂に伴う 新たな重要な種について

環境モニタリングの経緯と レッドデータの改訂の関係



レッドデータの改訂に伴う新たな重要な種

分類	科名	和名	重要な種の 選定基準		
			環境レ ドリ スト	徳島レ ドリ スト	
両生類	1	ヒキガエル	ニホンヒキガエル		準絶
	2	アカガエル	トノサマガエル	NT	IB
鳥類	1	ツバメ	コシアカツバメ		Ⅱ類
	2	ホオジロ	アオジ		留意
	3	アトリ	マヒワ		留意
陸上 昆虫類	1	サナエトンボ	ミヤマサナエ		準絶
	2		ヒメサナエ		準絶
	3	セミ	ハルゼミ		IB
	4	ジャノメチョウ	コジャノメ		Ⅱ類
	5	ハンミョウ	アイヌハンミョウ	NT	
	6	ミズスマシ	コオナガミズスマシ	VU	
	7	アリ	トゲアリ	VU	
	8	スズメバチ	ヤマトアシナガバチ	DD	
底生 動物	1	モノアラガイ	コシダカヒメモノアラガイ	DD	
	2	サナエトンボ	ミヤマサナエ		準絶
	3	ミズスマシ	コオナガミズスマシ	VU	
	4	ガムシ	シジミガムシ	EN	
陸産 貝類	1	モノアラガイ	コシダカヒメモノアラガイ	DD	
	2	キセルガイ	オオギセル	NT	
植物	1	シソ	タニジャコウソウ	NT	

今後の対応が必要な種

タニジャコウソウ

- ・生育環境から事業による
改変箇所(工事用道路や
洪水吐など)やその近傍
に生育している可能性が
ある
- ・改変箇所周辺を踏査し、
生育を確認することとする
- ・生育が確認された場合に
は影響を精査して、保全
措置の必要性を検討する

※魚類についても、新たな重要な種の確認を行ったが、対象となる種は確認されなかった。

2.新たに確認された 重要な種について

平成25年度調査での重要な種の 確認状況と今後の対応策

分類	種名	確認状況	影響予測	対応方針
新たに確認された重要種	コシアカツバメ	平成25年5～8月に、主に上那賀集落や河川で飛翔する個体が確認された。	<p>集落の人家の軒下などに営巣するため、改変予定区域では繁殖している可能性は低い。</p> <p>また、耕作地や草原、水辺などで採餌するが、事業によるそれら環境の改変率は低く、本種の主要な生息環境の多くが広く残存する。</p> <p>よって、本種に与える影響は小さいものと予測される。</p>	本種に与える影響は小さいと予測されるため、保全措置の必要性は低いと考えられる。よって、コシアカツバメへの保全措置等は実施しない方針とする。

※全ての種の生育・生息位置は、希少種保護の観点から非公開としています。

3.平成26年度工事内容(予定)

平成26年度改造事業工程表(予定)

※今後の工事発注情報が記載されているため非公開としています。

平成26年度工事計画(予定)

※今後の工事発注情報が記載
されているため非公開としてい
ます。

4.平成26年度モニタリング調査計画

平成26年度 モニタリング調査計画の予定(3/5)

項目	調査項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	調査内容
植物	ラン科B 事前調査			■					■					自生個体の生育状況の確認
	移植		■ 養生個体、移植先の状況に応じて移植										球根採取・植え付け、養生個体の植え替え	
	移植後のモニタリング			■					■					移植個体の生育状況の確認
	ラン科C 工事に伴う生育状況の変化の監視			■					■					生育状況、周辺の植生・生育環境の確認
ハルノタムラソウ 工事に伴う生育状況の変化の監視	■			■									生育状況、周辺の植生・生育環境の確認	

注) ナカガワノギクは種子供給量の変化による影響の把握を目的として概ね3年間隔で調査を実施する計画であることから、平成26年度は実施せず、平成27～28年度あるいは減勢工改造の工事実施時を目処にモニタリング調査を実施する。

平成26年度 モニタリング調査計画の予定(4/5)

項目		調査項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	調査内容
生態系上位性	オオタカ、サシバ、他猛禽類等(ミゾゴイ含む)	繁殖状況	●	●	●	●	●				●	●	●	●	定点記録法による確認(ミゾゴイの確認にも努める)
		建設機械の稼働に係る騒音	■	■	■	■	■	■				■	■	■	■

注) 生態系典型性河川域は、選択取水設備供用開始後の河川生態系の変化の把握を目的として実施する計画であることから、平成26年度は実施せず、予備調査及び供用前の魚類・底生動物・生息環境調査を平成27～28年度あるいは減勢工改造の工事実施時を目処に実施する。

平成26年度 モニタリング調査計画の予定(5/5)

調査範囲・位置

【大気環境】

- : 騒音・振動調査地点
他2地点 : 吉野集落付近、上那賀地区

【水環境】

- : 水環境調査地点

【植物】

移植対象とする個体の生育位置

- : ラン科B

移植後のモニタリング位置

- : ナンゴクウラシマソウ

- : ラン科A

- : ラン科B

監視対象とする個体の生育位置

- ▲ : ナンゴクウラシマソウ

- ▲ : ハルノタムラソウ

- ▲ : ラン科C

【動物・生態系上位性】

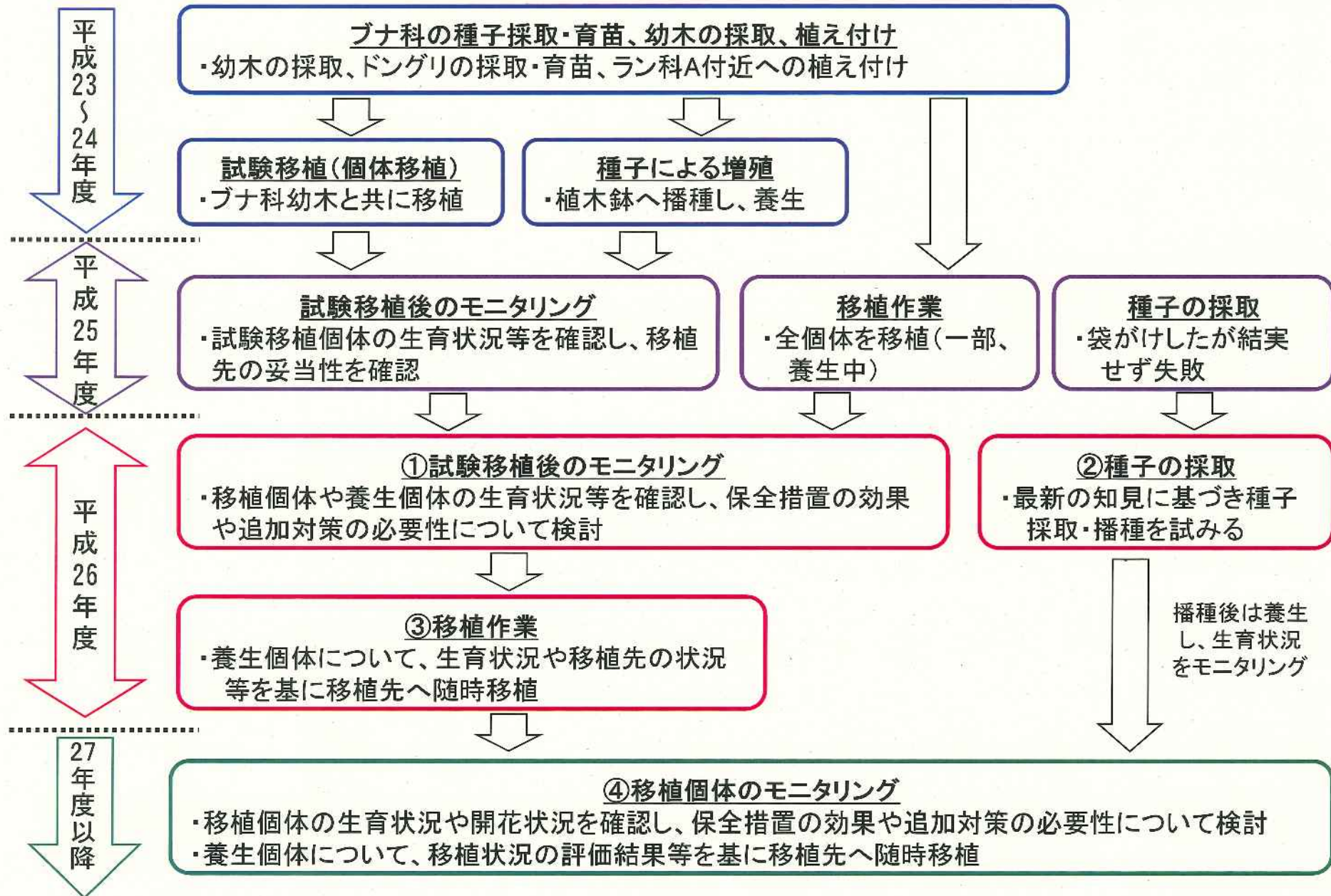
- : オオタカ・サシバ他猛禽類等調査範囲（繁殖状況を把握できる地点を2地点程度選定）

- : オオタカ・サシバ騒音測定地点

- : 影響要因となる工事（平成26年度）

※全ての種の生育・生息位置は、希少種保護の観点から非公開としています。

ラン科Aの移植計画



ラン科Bの移植計画

